

森林パトロール通信

平成28年度 第3号 平成28年6月20日発行

「遊々の森」始動!

平成24年度に中泊町立中里中学校と協定を結んだ「遊々の森」での活動が今年度もスタートしました。「遊々の森」とは、学校などと森林管理署長などが協定を結ぶことにより、様々な体験活動や学習活動を行うフィールドとして国有林を継続的に利用できるようにする制度です。

6月3日(金)、袴腰山国有林219ろ林小班で、中里中学校の1年生53名が森林教室とヒバの空中取り木苗作製を体験しました。



森林の役割などを学習



職員による空中取り木苗作製の実演

当日は、肌寒い天候の中でしたが、森林教室では森林の役割やヒバについて学習しました。その後は、苗木作りを実践しました。生徒たちはカッターを使って、ヒバの樹皮を切り剥がす環状剥皮の作業をはじめ、水苔巻きやビニール袋の取り付けなどの作業を真剣に取り組みました。



カッターを使って真剣に剥皮・・・



水苔をビニール袋で覆い、その両端を紐で縛ります。



今回作製した空中取り木から発根して苗木になるのは、3～4ヶ月後で、9月下旬には作製した苗木を植樹する体験活動を実施します。生徒からは、「秋に自分たちのつくった苗木がどのようになっているのか楽しみ」や、「森林は空気が澄んでいて気持ちよかった」という感想があり、普段入ることのない国有林の中での活動を楽しんでいました。



取れ木とは

1. 人工的な繁殖方法で、下枝を押さえつけて土中に埋めるなどして発根させるものです。
2. “空中”取れ木とは、取れ木部分を地中に埋めずに発根させる方法です。
3. 空中取れ木は、人工繁殖方法でクローン技術の一つであることから、ヒバ優良木や採種園の採種木の複製が可能です。

【なぜヒバをつかうのか】

- ・ヒバは伏条更新が活発で、人の手を加えなくても、圧雪などにより下枝が地面に触れると発根し、株立ちする特徴から、発根しやすく取れ木に適した樹木といえます。
- ・ヒバを使った空中取れ木は、簡単な方法で苗木を作製し、同年度内に植栽が行えるため、民有林の活用や森林教室などの体験活動に活用が可能です。



伏条更新



発根状況



津軽森林管理署金木支署 担当：三橋 浩恵
☎0173-53-3115 FAX0173-53-3197